

人文学部卒業研究

LINE タイムラインは大学生になぜ利用  
されないのか？

題 目 —Twitter との比較分析から考える—

---

指導教授

山本 明

印

---

提出年月日

2018年 12月 14日

---

学籍番号

HI15032

---

氏 名

杉谷 優一

---

LINE タイムラインは大学生になぜ利用されないのか？  
— Twitter との比較分析から考える —

HI15032

杉谷 優一

要旨

スマートフォンの普及とともに SNS の利用者也増加した。その SNS の中でも 2011 年からサービスを開始した LINE は日本で最も身近な SNS になった。LINE は過去にスタンプ会話、既読無視などについて様々な研究がされてきた。しかし、LINE タイムラインについては、これまであまり研究されていなかった。本研究ではこれまであまり注目されなかった LINE タイムラインに注目し、LINE タイムラインが大学生にどのように使われているか中学生を対象にした調査を参考に比較を行い、新たな使い方の可能性があるのかを似たような機能を持つ Twitter のタイムラインとも比較しつつ推論していく。

第一章では LINE 及び Twitter のタイムラインについての先行研究を検討し、SNS の現状や LINE の誕生から LINE タイムライン誕生への流れを辿る。また、Twitter については水沼ら (2013) の研究において非公開アカウントの利用者は、Twitter をプライベートなメディアとして捉えている可能性を示した。第二章では、研究課題と具体的な研究方法について述べ先行研究との差から生じた疑問から本研究に至るまで流れを説明している。第三章では調査方法とその結果及び考察を述べている。質問紙の内容の一部は金城ら (2017) が中学生を対象として行った質問を参考に構成した。また、Twitter との比較のために LINE 利用者と Twitter 利用者で同じような質問を構成した。結果として、男性に比べ女性は投稿経験があると回答した人が多いこと、LINE タイムラインにもっとも書き込まれる内容は「最近あったいい出来事」であることに関して金城ら (2017) の研究と同じ結果が出た。しかし、タイムラインを確認する頻度については男女ともに大学生では「ほとんど見ない」が半数近くを占めた。考察部分では、男性に比べ女性が積極的にタイムラインを利用していること、中学生と大学生ともに同程度のタイムライン利用経験者が存在し、タイムラインの投稿内容に関しては、「最近あったよい出来事」「趣味や好きなものについて」が共通して投稿数の上位に入ったことから男女や内容の傾向が似ている一方で、中学生で上位にあった「LINE バトン」「友達の紹介文」は大学生ではあまり投稿されていないことから、幅広い人間関係の構築とともにタイムラインでは親密な内容を積極的に扱わなくなったと考察した。終章で、調査内容や質問項目についての反省を行い、LINE タイムラインやその周囲で新たに生まれた SNS についての今後の展開を論じた。

キーワード

SNS LINE Twitter タイムライン 学生

## 目次

序章 はじめに.....	1
第一章 SNS の利用状況及び先行研究の概観.....	1
第一節 SNS の利用状況.....	1
第二節 LINE の概要と過去の研究.....	2
第三節 LINE タイムラインの調査研究.....	4
第二章 研究課題と研究方法.....	7
第一節 研究課題.....	7
第二節 研究方法.....	7
第三章 調査方法及び結果.....	8
第一節 目的.....	8
第二節 方法.....	8
第三節 結果.....	11
第四節 考察.....	18
終章 終わりに.....	20
参考文献.....	22
参考サイト.....	22
付録1 調査票.....	i